

## 特定施設の構造等変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

豊橋市水道事業及び下水道事業管理者 様

申請者

電話〇〇-〇〇〇〇

住 所 豊橋市〇〇町〇〇番地

氏名又は名称  
及び法人にあって  
は代表者の氏名  
〇〇クリーニング店  
豊橋太郎

下水道法第12条の4の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇鍍金株式会社〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	豊橋市〇〇町〇〇番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	66 電気メッキ施設	※施設番号	
△特定施設の構造（特定施設の使用の方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水量、用水及び排水の系統）	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - ※印の欄には、記載しないこと。
  - 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Aとすること。

変 更 前	
変 更 後	
変 更 理 由	

別紙1～4は変更部分についてのみ提出する

別紙 1

1. ～ 2. 特定施設の種類及び構造

1	番 号	66		
	名 称	電気メッキ施設		
2-イ	型 式	〇〇社製〇〇型		
	構 造	鉄鋼製 塩ビライニング		
	主 要 寸 法	幅 〇〇m 高さ 〇〇m 奥行 〇〇m  所要面積〇〇m <sup>3</sup>		
	施 設 数	〇〇基		
	能 力	金属部分 〇〇Kg/日/基		
	主要機械又は 主要装置の配置	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり
	2-ロ	工事着手予定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
完成予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日		
使用開始予定 年 月 日		令和〇〇年〇〇月〇〇日		
2-ハ	参 考 事 項			

備考 2-イの欄の記載については、詳細な図面を利用して、その概要を明記すること。

## 3. 特定施設の使用の方法

3-イ	設置場所	別紙配置図 のとおり	別紙配置図 のとおり	別紙配置図 のとおり			
3-ロ	特定施設を含む 操業の系統	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり			
3-ハ	1週間(又は月間) の使用日数	6日/週					
	1日の使用間隔 及び使用時間	8:00~12:00 13:00~17:00 8時間					
	季節的変動	なし					
3-ニ	原材料の種類 使用方法 及び使用量	金属部品 〇〇Kg/日 塩酸 〇〇Kg/日 苛性ソーダ 〇〇Kg/日 亜鉛板 〇〇Kg/日 ニッケル板 〇〇Kg/日					
3-ホ	通      常	水	量	50 m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日	
		水	pH	2~13			
			全シアン	20 mg/l	mg/l	mg/l	
			銅	30 "	"	"	
			亜鉛	40 "	"	"	
			全クロム	50 "	"	"	
			六価クロム	30 "	"	"	
	最      大	水	量	100 m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日	
		水	pH	2~13			
			全シアン	30 mg/l	mg/l	mg/l	
			銅	45 "	"	"	
			亜鉛	60 "	"	"	
			全クロム	75 "	"	"	
			六価クロム	45 "	"	"	
参 考 事 項							

## 4. 汚水の処理の方法

4-イ	設置場所	別紙配置図のとおり													
4-ロ	工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日													
	完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日													
	使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日													
4-ハ	種類	連続式メッキ廃水処理装置													
	型式、構造	〇〇社製〇〇型													
	主要寸法	別紙 構造図面のとおり													
	能力	〇〇m <sup>3</sup> /時													
	処理の方法	酸化、還元、中和、凝集沈殿法													
4-ニ	処理の系統	別紙のとおり													
4-ホ	集水および 導水方法	Φ100mm 塩ビ管													
4-ヘ	使用時間間隔	9:00~17:00													
	1日の使用時間	8時間													
	季節的変動	なし													
4-ト	処理に要する消耗 資材	硫酸、苛性ソーダ													
	用途別使用量 (1日当たり)	50Kg、50Kg													
4-チ	通	水量 m <sup>3</sup> /日	50												
		水	項目	pH	シアン	銅	亜鉛	クロム	六価クロム	pH					
			処理前	2~13	20	30	40	50	30						
	常	質	" 後	6~8	0.2	0.6	1	0.4	0.1						
			水量 m <sup>3</sup> /日	100											
		大	水	項目	pH	シアン	銅	亜鉛	クロム	六価クロム	pH				
	処理前			2~13	30	45	60	75	45						
	" 後		6~8	1	3	5	2	0.5							
4-リ	残査の種類	金属水酸化物													
	生成量(1月当り)	6000Kg/月													
	残査の処理方法	業者委託にて〇回/月処分													
4-ヌ	参考事項	処分業者 〇〇株式会社 電話〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇番地													

備考 (4-ヌ)の欄は残査の処分先、処分業者について記載し、業者との契約書の写しを添付のこと。

## 5. 下水の量及び水質

5-イ	通 常							
	排水口 名称	水量 m <sup>3</sup> /日	水 質					
			pH	シアン	銅	亜鉛	クロム	六価 クロム
No.1	50	6~8	0.2	0.6	1	0.4	0.1	
No.2	24	7	0.1	0.025	0.01	0.1	0.04	
No.3	雨水	—	—	—	—	—	—	
総合排水	136							
最 大								
No.1	100	6~8	1	3	5	2	0.5	
No.2	24	7	0.1	0.025	0.01	0.1	0.04	
No.3	雨水	—	—	—	—	—	—	
総合排水	204							
5-ロ	参考事項 No.3 排水口は、公共用水域へ							

## 6. 用水及び排水の系統

6	用水系統	使用量 m <sup>3</sup> /日	用途別排水（使用）量 m <sup>3</sup> /日	
		工業用水		特定施設
	井戸水	130	その他の施設	5
	水道水	6	冷却水	30
	河川水		事務所・厨房等	1
	その他（循環水・雨水）		その他（ ）	
参 考 事 項				

備考 6. 用水及び排水の系統については、用途別を細分して図に表すこと。

## 工場、事業場の概要

工場事業場の名称	〇〇鍍金株式会社 〇〇工場	工場事業場の所在地	豊橋市〇〇町〇〇番地
操業年	令和〇〇年〇〇月〇〇日	資本金	〇〇百万円
従業員数	〇〇名(〇〇名)	公害関係担当者名	〇〇課長 〇〇 〇〇 電話 (〇〇)〇〇〇〇 番
主な生産品(月産別)	〇〇部品 〇〇Kg/月		

[工場付近の略図]

工場付近の略図を記載してください。

工事施工者	住所	豊橋市〇〇町〇〇番地
	名称	〇〇設備株式会社
	担当者	〇〇 〇〇 TEL〇〇—〇〇〇〇